

「秋」の実い

「彩」のテーマのもと、夏休み前から準備をしてきた附中祭「秋」が終わりました。

生徒の皆さんにとって、2か月近くに及ぶ合唱練習を通して、一つのものを創り上げる喜びや苦しみを皆で味わい、学級の絆を深めることができたものと確信しています。

午後は、本校の卒業生で、現在、愛知教育大学准教授として御活躍の、橋本剛先生を講師にお招きし、「誰と行こう、どこへ行こう～昭和に言われたことは令和でも通じるのか～」をテーマに文化公演会を開催しました。

「附中讃歌」の編曲者でいらっしゃる橋本先生は、講演の中で「附中讃歌」にまつわる様々なエピソードを話してくださいました。

平成元年の研究発表会で文化面の成果を披露する目玉としてこの曲が作られたこと。前半部分の伴奏は、附中合唱の定番である「大地讃頌」の伴奏を参考としていること。「ここ学び舎の」の部分の旋律には、作曲者である中村晋一先生（当時の附中の音楽科の先生）が好まれたベートーヴェンの3度転調が使われていること。

中でも、中村先生が病院のベッドの上でこの曲を作ってくださったというお話をからは、この歌に込められた中村先生の思いの強さを感じとったことと思います。また、後半では、直接、全校での附中讃歌の合唱指導をしてくださいり、たいへん貴重な経験となりました。

「形あるものは変わっていくけれど、音楽は変わらない。」という言葉も印象的でした。附中の合唱には、互いを認め合う温かい集団だからこそ生まれる美しく力強い響きがあり、これは附中の誇る伝統です。附中祭「秋」で深まった学級の絆が、今後の学校生活の中で一層堅く結ばれてほしいと思います。



開会のことば



講師 橋本 剛 先生

学 年	インプレッシブ 賞	オーディエンス賞
1 年	3 組	1 組
2 年	1 組	3 組
3 年	4 組	3 組

各学年の成績



1-1 「あさがお」



1-3 「僕らの奇跡」



1-2 「この地球のどこかで」



1-4 「花は咲く」



2-1 「ヒカリ」



3-1 「友～旅立ちの時～」



2-2 「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」



3-2 「聞こえる」



2-3 「ほらね、」



3-3 「虹」



2-4 「君と見た海」



3-4 「Gifts」

(裏面もあります)

感染症に注意



インフルエンザが流行しています。感染拡大防止に努めましょう。

○休養、栄養を十分にとる。…おかしいな、と思ったときは早めに就寝を。

○保温や保湿に気をつける。…朝夕の冷え込みを予想した服装を。

○うがい、手洗い、換気をする。…教室では、体育の後や昼食の前など、声をかけ合って。

インフルエンザの出席停止期間は、「発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで」となっています。医師の指示によりますので、受診の際に出席停止期間の確認をお願いします。

おめでとう

部活動の成績や、学校を通して出品した作品等に係る表彰について御紹介します。

第69回日本学生科学賞長崎県審査(10/6)

最優秀賞 小林拓眞(3-1) 優秀賞 田中 彰(3-1)、片山朔太郎(2-3)

※最優秀賞の小林さんの作品「生育環境がサンゴモに与える影響～幻の島の不思議な生物～その3」は、中央審査に進みます。

第73回統計グラフ全国コンクール(10/20)

第4部 佳作 木下聖渚 第5部 佳作 小嶺彩

長崎市中学校新人大会

テニス競技(10/25、26 市営庭球場)

〈男子〉

個人ダブルス 優勝 山川寿丸 根本光

〈女子〉

団体 優勝 楊井実和 吉見真汎 丸屋柚乃 水崎櫻子 沼嶋愛華音 矢野優里

個人ダブルス 優勝 吉見真汎 沼嶋愛華音

個人シングルス 準優勝 稲津陽向 第3位 楊井実和

バドミントン競技(10/25、26 三菱重工長崎体育館)

シングルス第3位 大田颯人

陸上競技(10/25、26)

トランスクスモススタジアム長崎)

〈男子〉 1年100mH

第1位 江口芯(大会新)

2年100m

第1位 武藤圭佑 第2位 堀内隆宏

2年走幅跳

第1位 武藤圭佑

共通110mH

第1位 堀内隆宏(大会新) 第2位 安藤央貴

共通4×100mR

第1位

山内大翔 堀内隆宏 武藤圭佑 安藤央貴(大会新・県中学2年新)

〈女子〉 2年走幅跳

第1位 菅田茉央

共通4×100mR

第1位

久村なる 菅田茉央 野口凜 松尾侑莉